

青訓演習從軍記

社 陵 生

(承前)

北軍はよく自然物(電信の銃火を逃れて、山を越へて決死前進を続ける。本く、斯くて最後突撃。肉を寄贈されて一行の勢を盛らす。敵は数個の死屍を遺して退却。追撃、又追撃の貌。

敵飛行機襲来。爆弾投下。

北軍は林の中、大木の下にかくれる。木の枝を體につける。かくて高角砲の一斉射撃に機は墜落したが北軍の損害亦多大。

藤田(カ)分隊は左翼となりて原木田の山岸傳ひ石坂分隊は右翼となりて本隊と連絡を取りつ、小名濱街道を前進。

折からの暑熱。玉なす汗は上着にしみ抜けて雨にぬれた様であり、軍帽は塵にまみれて白く見える。不完全の訓練は突如の膨脹によつて抜けなくなつたものを洗つてつぎながら又塵をこける。駆足。射撃。男。黄塵。銃聲。何んといふ男性的な場面であらう。

南軍は一時諏訪神社に收容陣地を取つたが、陣を立て直して後方の小高い丘に最後の塹を構えた。

南軍は高臺に陣地を構え機關銃を供へ、前面に鐵條網を張り亂射砲撃。屍山血河。諏訪神社裏に救兵した藤井中隊、原木田の山岸を右翼を衝いた藤田分隊、何れも苦戦。殊に敵の左翼機時間中の小學生迄直立不廻つた石坂分隊は、一時動の姿勢となつて感涙にむ

草集

露 草

鳥田 忠 夫 抄

秋山 草子

吉田 演子

山尼 好子

水出 勝子

鈴木伊登子

深川 秀子

沾華微笑

コソ、町會前の恒例劇が始まる。あすから始まる。四倉行き臨時列車。何人乗るか見ものぞ。

そつちで胡鼠。一、無銭飲食。お好いか分りませんが、抱え主の多くは始めからか。善。御用入から参つた。

式終つて迄迄の味方は一堂に會して茶菓談話。小名濱町長鈴木榮氏は、本日演習に對し深く感激の様子を寄贈されて一行の勢を盛らす。敵は数個の死屍を遺して退却。追撃、又追撃の貌。

敵飛行機襲来。爆弾投下。

北軍は林の中、大木の下にかくれる。木の枝を體につける。かくて高角砲の一斉射撃に機は墜落したが北軍の損害亦多大。

藤田(カ)分隊は左翼となりて原木田の山岸傳ひ石坂分隊は右翼となりて本隊と連絡を取りつ、小名濱街道を前進。

折からの暑熱。玉なす汗は上着にしみ抜けて雨にぬれた様であり、軍帽は塵にまみれて白く見える。不完全の訓練は突如の膨脹によつて抜けなくなつたものを洗つてつぎながら又塵をこける。駆足。射撃。男。黄塵。銃聲。何んといふ男性的な場面であらう。

南軍は一時諏訪神社に收容陣地を取つたが、陣を立て直して後方の小高い丘に最後の塹を構えた。

南軍は高臺に陣地を構え機關銃を供へ、前面に鐵條網を張り亂射砲撃。屍山血河。諏訪神社裏に救兵した藤井中隊、原木田の山岸を右翼を衝いた藤田分隊、何れも苦戦。殊に敵の左翼機時間中の小學生迄直立不廻つた石坂分隊は、一時動の姿勢となつて感涙にむ

△島田忠夫氏「東日」マガジン懸賞「新雑誌」懸賞作「平町小唄」が二十五日發表の豫選に入った。

△由井正雪自殺す(慶安四)△河井健之助長岡城を陥る(明治七)△大石橋の激戦(同三七)△豊島沖の海戦、日清の風雲急にして坪井海軍少将、吉野、浪速、秋津洲の三艦を率ゐて朝鮮に赴かし、遼東島沖に至りし時清艦隊と、二隻に會ふ。彼我に發砲せしは應戦して之を捕獲し高麗を擧げし(明治一七)

合が好いか分りませんが、抱え主の多くは始めからか。善。御用入から参つた。始めは金を成るべく減らぬ。ナと涼しうな。豊間村エ議員がある相ですが年限を切らしたのか。善兵衛の差出れる。善兵衛の差出れる。善兵衛の差出れる。



廿五日(土曜)仙臺 JOURNAL

△九〇〇〇〇 氣象通報

△九〇〇〇〇 料理献立

△九〇〇〇〇 日用品献立

△一〇〇〇〇 家庭講座(夏)

△一〇〇〇〇 小野玉枝(生活)

△正午 A 時報

△後〇〇五 落語(王子の狐) 春風亭柳葉

△四〇〇〇 A ニュース

△三〇〇〇 A ニュース

△二〇〇〇 A ニュース

△一〇〇〇〇 今晩の番組報告

△一〇〇〇〇 今晩の番組報告

△小色 井小色演(宮野恒彦書)

△三三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

元禄名妓傳

小色 井小色演

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

△一三席

藤沼醫院

内科、小兒科、入院應需

電話 平 町 平 五〇七番

平電氣治療院

平町字胡摩澤一六一

頭痛、神経痛、肩癱、リウマチス、其他慢性諸病

吉田眼科病院

安齋外科醫院

平町田町

電話 四七五番

大漁亭

コカチ式ムシ釜使用 電話五一

釜めし 一人前二〇銭

好評毎度御座下サレ

安イ、内容豊富、味のよい釜めしをのめし上つて下さい

四倉町仲町海産座

泉屋支店

藤田女學校隣

菓子司

御披露

海草蒸氣療法

胃腸病、神經痛、喘息、諸症、リウマチス、脚氣、痔疾、諸症、其他難病一切に卓効あり。

ヤチーネソイカ

番一七三話電院分城登町大町平

仙臺商業學堂

東山 西文學の比較(佛蘭西傳奇劇)日本(論理學) 早大教授中桐 確太郎

△三四〇〇 A 氣象通報

△三四〇〇 A ニュース

△三四〇〇 A ニュース

△三四〇〇 A ニュース

山崎合名會社

味噌醬油

たひら正宗

電話(本)店二七番

外科 產科、婦人科 院長 木村寅次郎

平新川町十九

木村病院

電話 一六四番

お醬油は ヤマフル

鹽屋

山崎合名會社

電話(本)店二七番

夏のサロソ

樽詰生ビールを召せ

冷たいアイスクリーム

出町サロソ

電話 三五二番

